

# 今治港 津波防災情報図 (進入図)

計算条件: 最高水面(零位)  
 隆起量: 平均 -0.51m(-0.72m ~ -0.38m)  
 Zo: 2.00m  
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



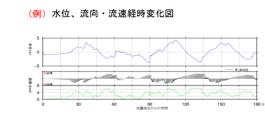
座標系:メルカトル図法  
 測地系:世界測地系 (WGS84)

## 凡例

最大水位上昇

- 0.5~最大1.2m
- 0.5未満

(No) 経時変化図出力点  
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

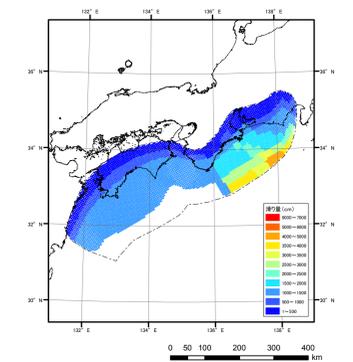


進入時最大流 (knot)

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



ケース①「駿河湾～紀伊半島沖に『大すべり域+超大すべり』」

断面面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.1 X 10 <sup>22</sup>
平均すべり量 D (m)	10.3
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)」(平成24年8月29日発表)により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報メッシュ (標高) 及び数値地図25000 (地図画像) (国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平24情使 第911号 平成25年3月29日)  
 ・都市計画図 (今治市長の承認を得て、同市作成の1/2,500都市計画図を使用して作成した。測量法第44条に基づく成果使用承認。平成25年3月8日、都第48号)



作成機関: 海上保安庁  
 調査情報提供年度: 平成25年度  
 調査時期: 平成25年3月(前期)